

定例教育委員会資料

報 告 資 料  
学 校 評 価 報 告 書  
幼 稚 園 ・ こ と も 園  
(平成29年度)

篠 山 市 教 育 委 員 会

幼稚園名 認定こども園名	自己評価結果			学校関係者評価	篠山市教育委員会としての支援策
	成果がみられる項目	課題のある項目	今後の改善方策または充実方策		
篠山幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他園との交流、福祉施設への訪問、園区内外の神社や公園へのお出かけ、力いっぱい遊ぶことが出来た。</li> <li>・保護者の理解と協力もあり、十分な睡眠時間が確保できている。</li> <li>・「好きな遊びの時間」や設定保育の時間等、友だちとのコミュニケーションをとおして自分の思いを相手に伝えたり、相手の考えを受け入れたりすることができた。</li> <li>・季節に応じた野菜を育て、食することで、食べ物に対して親しみをもつことができた。</li> </ul>	(Cの評価項目なし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他園との交流により、本園とは違った環境に働きかけ、生き生きと活動する園児を育成していきたい。</li> <li>・今後とも交流する機会を増やし、人への接し方を学ばせたい。</li> <li>・栽培活動については、今後も継続して取り組みたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同年代のほか、様々な年齢層の人たちとの関わりを持つ機会を積極的に設定している。コミュニケーションの育成にもつながるので、今後とも継続して欲しい。</li> <li>・篠山幼稚園で多くの幼児が学ぶことが出来るよう、本園での取り組みを地域に発信して欲しい。</li> <li>・今年度は年長児が一人であったが、一人でもこんなに楽しく過ごせていることを地域に知って欲しい。</li> <li>・城下町に立地しているので、四季折々のお祭りがあつたり、商店街もある。今後も園外に出かけ、篠山の特色やふるさとの良さを知る機会を大切にして欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園教育においては、保護者をはじめ、地域の方々との連携を密にすることが重要である。自然体験活動や伝統文化に触れる保育活動を計画的に実施し、保育内容を充実させることができるよう、園訪問の機会等に指導する。</li> <li>・幼児の姿や地域や園の環境を活かした教育課程を編成し、実施・評価し改善に努めるよう指導する。</li> <li>・「学校園安全管理マニュアル」を活用し、定期的な安全点検の実施を徹底すると共に、避難訓練・交通指導等の安全教育の実施について指導する。</li> </ul>
八上幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス全体で、子どもが自分の思いや考えを伝え合う時間をとることで、自分たちで考え、決めて活動していけるようになった。</li> <li>・子ども自らやってみたくなるような環境作りを工夫し、安心して遊べるように、時間の確保をし、子ども達で遊びを広げて楽しむようになった。</li> <li>・発達の相談が必要な園児には、保護者面談をし、相談につなげることができた。子どもの様子を保護者に伝え、理解を深めてもらった。</li> </ul>	・眠育、食育の指導を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園だよりやクラスだより、連絡ノートなどをとおして啓発し、定着するようにしていきたい。</li> <li>・食べ物の好き嫌いや食事のマナーに課題が見られることから、子どもには指導を行ったり、育てた野菜を収穫してクッキングを行ったりしているが、今後は園だより(食育だより)などで保護者に知らせていくようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶を習慣づけるには、指導のタイミングや方法(目標を設定する等)が大切である。</li> <li>・子どもが自分でできそうなことは、できるまでじっくり待つことが大切である。</li> <li>・毎日の生活の中で創意工夫したり、振り返って思ったことを発表する場があるのはよいことである。</li> <li>・1年間で子ども達はすいぶん成長した。特にひらがなをよく覚えるようになった。発表会では友だちのことを思いやる場面が見られて嬉しかった。</li> <li>・幼稚園で言葉集めをし、その言葉を先生がホワイトボードに書かれているので、自然にひらがなに興味を持ち覚えられようになった。また中遊びと外遊びを子どもにも選択させてもらえるのが嬉しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣の確立に向け、保護者と園が連携を密にして進められるように、園だよりや学級だより、個人懇談などを 利用して啓発を図るよう指導していく。また、「子育て講演会」を開催し、子育て中の保護者の気持ちに寄り添う機会を設ける。</li> <li>・一人一人の幼児の内面理解に努め、個々の成長や課題を明確に捉え、個に応じた総合的な指導を行うように指導する。また、年間計画の見直し、日々の保育のねらいや内容について検討し、幼児の主体的活動を主とした保育が展開できるよう、計画的に環境を構成していくように指導する。</li> </ul>
たまみず幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然を題材とした工作・体験活動や行事を通して四季を感じ、豊かな情操を培うことや自ら関わろうとする態度を育てることができた。</li> <li>・園だより、学級通信の発行、HP更新に努力した。</li> <li>・オープンスクールを実施して、保護者人権学習会を実施し、お楽しみ会等の園行事を地域に公開できた。</li> </ul>	(Cの評価項目なし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も各種通信の発行やHPの更新をしていく。</li> <li>・地域の中の幼稚園を意識し、行事や体験活動等で積極的に地域との関わりを作っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な行事や交流活動などを通して、園児の自主的・自発的活動を大切に取組をされていることがわかったので、今後も取り組みを進めてほしい。</li> <li>・安全・安心な園づくりについては、様々な取組を進めてもらっているが、自治会や地域組織としても、さらに協力できることがあれば取り組んでいきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児が自然に触れて感動する体験・様々な人との関わり等を通して、豊かな感性や表現力を身に付けることができるよう、保育内容の充実に向けて、職員研修会を実施する。</li> </ul>
岡野幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の特産物の栽培活動・園外保育・3B体操・交流保育活動等様々な活動に積極的に取り組めた。研究会場園として、研修に意欲的に取り組めた。</li> <li>・小学校や幼稚園・こども園との交流を積極的に行うことができた。</li> <li>・幼稚園のHPを開設し活用することができた。</li> </ul>	(Cの評価項目なし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児の興味関心を大切にした遊びや季節を考慮した遊び等に工夫して取り組めたが、人数減少に伴い、更なる工夫改善が必要である。</li> <li>・少人数の中で人権意識をどう育てていくかが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園全体として活気があり、元気な園児が多い。</li> <li>・先生と子ども達の距離が近く、個々に適切できめ細やかな言葉かけができています。</li> <li>・保育や教育活動に先生方の工夫が感じられる。</li> <li>・今年度研究会を受け、研修を重ねられたことの成果が子ども達の成長に現れている。</li> <li>・今後益々、園の少人数化が進む中で、少人数の良さを生かした保育の在り方を工夫していくことは大切であるが、多人数の中で育つ力をいかに保障していくか、園だけでなく、地域や行政も含めて考えていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園と小学校との連携・交流を通して、幼児期から児童期への発達や学びの連続性を確保することの大切さについて理解を深めるよう指導していく。</li> <li>・平成30年4月の教育要領改訂をふまえて、園の教育課程が編成されるよう指導すると共に、小学校教育とのつながりを意識したアプローチカリキュラムの作成を推進し、幼小連携の工夫を促す。</li> </ul>

幼稚園名 認定こども園名	自己評価結果			学校関係者評価	篠山市教育委員会としての支援策
	成果がみられる項目	課題のある項目	今後の改善方策または充実方策		
城南幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の施設やゲストティーチャー、高齢者大学と交流しながらの保育ができた。</li> <li>月1回の園だよりや週1回の学級通信を発行し、こまめに保護者に子どもの成長を知らせることができた。</li> <li>寝顔の写真掲示やクッキング等の行事を取り入れ、睡眠や食生活について家庭と共に考えることができた。</li> <li>幼稚園の行事に複数回1年生や4年生を招待し、たかし保育園や八上幼稚園とも交流を図ることができた。</li> </ul>	(Cの評価項目なし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>5歳児は自分本位のケンカが減り、相手のことを考える言動が増えた。4歳児は友達を意識して生活できるようになった。遊びの中で関わり合い、力を付けてきた。さらに年長、年少の交流を増やしていきたい。</li> <li>園児の幼小の情報交換や特別支援に関わる情報交換ができた。さらに特別支援にかかわる幼小職員による合同研修を行いたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年間で大きく成長する姿が見られた。園行事を参観していても、園児一人一人が助け合って一つにまとまろうと自分なりに考えて活動している姿に感動した。</li> <li>昨年度から引き続き、小学校コミュニティ・スクールと連携して栽培活動や餅つきなどの活動ができた。今後も体験活動を支えていきたい。</li> <li>保護者で山野などの自然と触れ合う人は少ない。アグリステーションを活用するなど、ぜひ親子で体験できるような取組も進めてほしい。</li> </ul>	前ページに記載
古市幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの体験活動を取り入れ、園児一人一人に寄り添うきめ細かな保育を進めることができた。</li> <li>芝生園庭を活用した運動遊びや、年長、年少組の交流「なかよしペア」などにより、仲間作りを進めることができた。</li> <li>小学校と合同で毎月2回安全点検を実施した。不備な個所は、早急に対応した。</li> <li>交流計画「ちいきのみなさんこんにちは」を元に保護者や地域の方と交流を行った。</li> </ul>	(Cの評価項目なし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊かな自然を活かした体験活動を通して、園児一人一人の豊かな心を育てていきたい。</li> <li>園児への安全教育は、発達段階に応じて引き続き、小学校と連携しながら取り組んでいく。</li> <li>保護者や地域の方との交流は、園児の成長につながるのと同時に、大人も元気をもらえるので、増やしていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活発表会では、一人一人の園児が表現豊かに力いっぱい発表している姿にとっても感動した。</li> <li>園庭が竹藪の陰になり、日当たりが良くない状況である。また、芝生の状態がかなり悪化している。安全・安心な園を目指すためにも環境整備を進めたい。</li> <li>支援の必要な園児が、先生や周りの子に支えられながら楽しそうに活動していた。特別支援教育の理解を進めながら、一人一人の個性を活かす保育活動を進めたい。</li> <li>学童保育施設が新築される。幼児教育、子育て支援の充実が住みやすい地域となり、児童数の増加につながることを期待したい。</li> </ul>	
今田幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者と連携し、協力して行事を進めることができた。保育園や、小学校、中学校とも交流ができた。</li> <li>土砂災害特別警戒地域に幼稚園の一部が指定されるため、避難マニュアルを更新して避難訓練を行った。園児の安全意識が高まった。</li> <li>定期的に職員会議を持ち、園児一人一人について共通理解を図った。関係機関とも連携し、個々に応じた支援の在り方を見直し、適切な支援ができた。</li> </ul>	(Cの評価項目なし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣の定着をめざして保護者とも連携を密にしてきたが、アンケート結果では達成度が低かった。今後も取り組みを継続していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園教育目標の「げんき」「なかよし」「ちからいっぱい」をいつも意識して活動できている。</li> <li>発表会では元気に発表しているが、感動を伝えるような心のこもった台詞が言えるように情操教育にも力を入れて欲しい。</li> <li>課題のある園児が増えてきていると聞く。そういった子ども達が発表などでも孤立しないようにこれからも指導して欲しい。</li> </ul>	
味間こども園	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全点検については、全職員が2人ペアになり、毎月違った箇所を点検することで、安全対策に意識を持って取り組むことができた。</li> <li>味間特産のお茶に親しんだり(お茶摘み調理等)黒枝豆もぎ体験や日常の散歩等を通して四季を感じる事ができた。</li> <li>食育保育の日を設定し、地域の特産物を食したり、行事食に触れたりすると共に、食育だよりを発行し、食育の大切さについて伝えた。</li> </ul>	(Cの評価項目なし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月1回非常訓練を行うと共に、篠山市消防本部の指導による訓練や保護者による引き渡し訓練も行うことができた。今後、地域自治体や篠山警察署との連携を密にし、安全管理に活かしたい。</li> <li>就学に際しては、味間小学校や、健康課、市教委との連携を密にし、発達障害のある園児のスムーズな就学に努める。</li> <li>自然や四季の行事、生活などを遊びの中に取り入れ、主体的に遊びを進める喜びを味わうことができた。次年度は更に園周辺の自然環境を取り入れ、遊びが更に発展するように努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各通信できめ細やかに情報発信してもらっているが、加えてホームページの開設を検討して欲しい。</li> <li>年間計画に沿った地域との交流、体験活動の充実を図ることができているが、園周辺地域との触れ合いや交流の機会を積極的にもつようにして欲しい。</li> <li>3～5歳児対象の防犯教室や職員防犯訓練の実施がされ、安全対策に取り組んでいることが分かる。幼児への具体的な指導についても情報発信して欲しい。</li> <li>食育保育の日を設定し、地域の特産物を食したり、行事食に触れる機会が設けてあり、嬉しく思う。</li> <li>できたての物、衛生的な食事の提供をいただいている。アレルギーのある園児への除去食の提供もあるが、対象児保護者との面談で、食事内容や提供手順などについても共通理解して欲しい。</li> </ul>	

幼稚園名 認定こども園名	自己評価結果			学校関係者評価	篠山市教育委員会としての支援策
	成果がみられる項目	課題のある項目	今後の改善方策または充実方策		
かやのみ幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも明るく大きな声で教師に挨拶ができた。</li> <li>・小学生と一緒に様々な体験をする機会を設けることができた。</li> <li>・生活発表会を中心に、子ども達なりに意欲を持って難しい内容にも挑戦し、演奏を楽しむことができた。</li> <li>・普段からの情報交換だけでなく、12月、1月には小学校職員が幼稚園児の保育参観をするなどし、その後合同職員会議で情報交換することができた。</li> </ul>	(Cの評価項目なし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規則を守ろうと意識して園での生活を送る子もいれば、なかなか守れない子もいた。日々の保育の中で、約束やルールを守ることの大切さを伝え、実践していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な行事に参加させていただいたが、子ども達も元気にすくすくと育っている。更に保育者・地域共とも連携を深め、よりよい幼稚園となるようにして欲しい。</li> <li>・さつまいもや米を育てることで、作物を育てる楽しさや大変さを体験し、好き嫌いをなく食べられるようになって欲しい。今後も園の行事に積極的に参加し、園児との関わりを通して園児の健全な成長につながればと思っている。</li> <li>・子どもの少ない地域なので、大人も気軽に地域でもかかわる機会を作り、顔見知りになるようにしたい。そうすることで、園児の人間関係づくりにつながる力を自然と育むことができる。一人一人の個性を大切にしながら、落ち着いた園生活が送れるよう願っている。</li> </ul>	前ページに記載
たき幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月2回の安全点検を実施し、2回目には1回目に出てきた課題を職員作業等で解決することができた。</li> <li>・年2回の個人懇談だけでなく、普段から連絡帳や電話等で連絡を取り合い、必要であればすぐにお出会いするように心がけることができた。</li> <li>・予定などの情報はできるだけ早く保護者に伝え、保護者が園に来やすい状況を作るように心がけることができた。</li> </ul>	(Cの評価項目なし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回は訓練もしくは安全に関する教室を開催し、園児はもとより職員自身が安全意識を磨く場としてきた。今後も継続して取り組んでいきたい。</li> <li>・田や山に出かける機会を大事にしてきた。今後も地域の自然に親しむ機会を作っていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支所移転等幼稚園を取り巻く環境が変化する中、関係機関と連携を取り合って園児の登園や降園時の安全についてしっかりと対応されている。次年度移転後、支所に来られた地域の方に幼稚園を見ていただく機会が増えたと捉えて、地域に開かれた園をめざして欲しい。</li> <li>・「ダンゴムシ」についてみんなで考える「ダンゴムシ会議」を開いたり、人と自然の博物館から講師を招いたりして、子ども達の興味や関心を喚起させるような体験をさせていただいている。</li> <li>・単独園として2年目も、保護者や園児にとって安心な園となるようにきめ細かく取り組んでいただいている。</li> </ul>	
西紀みなみ幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・門扉を設置するとともに、登園時、保護者が園児を引き渡す方法を安全に配慮した方法に変更した。(玄関ではなく体育館前で引き渡す方法に変更)</li> <li>・クッキングを年に3回行った。地域の栄養士会の方にご指導いただき、食育に関する話をしていただいたことが大変良かった。</li> <li>・近隣の地域を散策したり、園近くの森に出かけたりして、四季折々の自然の植物に触れて遊び、楽しみながら自然に関心を持つことができた。</li> </ul>	(Cの評価項目なし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年少組については、基本的な生活習慣の定着に向けて、保護者へさらに広報していくことが大切である。</li> <li>・大きな声で挨拶をする習慣はついてきているが、自分から進んで挨拶をするという点では課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登園時の保護者から担任へ園児を引き渡す方法が変わったが、園児・保護者ともにそのやり方に慣れてきている。安全な引き渡し方法として良い。</li> <li>・野菜の栽培や身近な自然に親しむ体験を通して、命の大切さに気づき、様々な生き物への愛情が育まれていると感じる。</li> <li>・積極的に保護者との面談を行っていることは、個に応じた指導、支援を行う上で大変良い。</li> <li>・園での行事や普段の様子を見ながら、先生たちの園児への優しさを感じる。そのことが園児達の成長につながっていると思う。</li> </ul>	
西紀きた幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早寝・早起き・朝ごはん、「あいさつ日本一の草山地域」、また、手洗い、うがい等、基本的な生活習慣の確立や、準備や後片付け等、家庭と連携を密にし、習慣化を進めることができた。</li> <li>・送迎時に短時間でも保護者との情報交換をすることにより、園児理解、保護者理解に努めた。</li> </ul>	(Cの評価項目なし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校と連携した避難訓練はしているが、小学校と距離があるために状況に応じて、幼稚園独自で避難しなければならぬことも起きうる。その際のマニュアルが必要である。</li> <li>・少人数の良さを生かしながら、他園や小学校との交流をすすめる中で協調性の育成を図っている。今後も交流活動を取り入れた保育を計画していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児一人一人の理解を深めていただき、集団としても力を発揮できる幼稚園教育の継続をお願いしたい。これからも人の気持ちの分かる園児を育て、西紀きた幼稚園ならではの少人数の中での仲間作りをお願いしたい。</li> <li>・あいさつは大人の姿を見て学ぶことが多い。まず大人が模範を示していけるように地域をあげて取り組んでいきたい。</li> <li>・今後特別な支援を要する園児が増えてくるので、関係機関とも連携し、相談体制を整えていくことが必要になってくる。</li> </ul>	
大山幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・頑張りや良いところをみんなの前で紹介する中で、友だちのことを認めたり、刺激を受け自分も頑張ろうとする姿が見られた。</li> <li>・子どもが自ら考え、意欲的に活動できるように言葉がけをした。</li> <li>・栽培活動を積極的に行った。特に黒豆の栽培では、愛育班の方と種から植え、苗の植え替え、収穫まで連携して行うことが出来た。</li> </ul>	(Cの評価項目なし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度は地域の方に大山の自然を使った遊びを教えていただく機会を作っていきたい。</li> <li>・保育園とは年間3回交流を行っている。小学校とは、縦割り班活動で年間2回、1年生とは3回以上交流を行っている。今後も定期的に連絡を取り合い、連携していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園のころから、何になりたいとか、どんな人になりたいという気持ちをもつことは大切である。心の優しい気遣いのできる子どもを、幼稚園と地域、家庭で育てていき、社会に出た時、人間関係の基盤となるところを育てて欲しい。</li> <li>・家庭から離れて自立する第一歩になる幼稚園で、生活習慣を確立し、小学校へ繋げて欲しい。</li> <li>・いろんな体験を通して、人間関係や頑張りぬく力をつけさせて欲しい。</li> </ul>	



1 幼稚園・認定こども園教育目標等

人や自然に働きかけながら、のびのびと活動する子

2 今年度の重点目標

- ①篠山小学校の児童、他園及びこども園の園児、地域の福祉施設や商店街等、様々な年齢層と交流することで、園児のコミュニケーション力を育成する。
- ②城下町の特色を生かし、城跡やお堀などの身近にある自然環境への働きかけや、商店街などへの見学をとおして「ふるさと篠山」への親しみを持たせる。
- ③四季折々の花や野菜の栽培活動等をとおして、環境に働きかける価値を知るとともに食育の推進に繋げる。

3 学校自己評価項目の達成及び取組状況

(達成状況： Aよく達成できた B達成できた C課題がある D改善を要する)

分野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
健康	・身の回りを清潔にし、衣服の着脱や食事等、基本的な生活に必要な活動を身につけさせることができたか。	A	○登園後は、靴、上着、ジャンパー、水筒等、所定のロッカーに規則正しく入れるなど、整理整頓を心がけている。 ○11:30にランチルームに入り、当番はエプロンとマスクを着用後、配膳を行うという活動が定着している。摂食時間も決められているが、全員守って残さず食べている。園児同士一緒に食べることを楽しんでいる。また、手洗いや歯磨きも進んでできており清潔感がある。 ⇒身の回りの整理整頓、身だしなみ、食事のマナー等、基本的な事柄は今後も徹底して指導する。
	・意欲的に遊ぼうという気持ち育てることができたか。 ・生活リズム、特に睡眠の大切さを知り、早寝の習慣が身についたか。	A	○他園へとの交流、福祉施設への訪問、校区内外の神社や公園へのお出かけ等、力一杯遊ぶことができた。 ⇒本園とは違った環境に働きかけ、生き生きと活動する園児を育成していきたい。 ○「学校園だより」や「園だより」で、また、保護者の送迎時に睡眠の大切さについて啓発している。保護者の理解と協力もあり、十分な睡眠時間が確保できている。

<p>人 関 係</p>	<p>・地域の方々との交流をとおして、思いやりの心や自己表現力を育成することができたか。</p> <p>・友だちと生活する楽しさや大切さを実感させることができたか。</p>	<p>A</p> <p>A</p>	<p>○福祉施設を訪問し、歌を歌ったり一緒に工作活動等をした。また、商店街に出かけ、花の苗を買うなど、お店の人と金銭のやりとりができた。人に出会ったときのあいさつ、目上の人に対する言葉遣い、笑顔で接することの大切さなど、多くのことを学ぶことができた。</p> <p>⇒今後とも交流する機会を増やし、人への接し方を学ばせたい。</p> <p>○「好きな遊びの時間」や設定保育の時間等、友だちとコミュニケーションをとおして自分の思いを相手に伝えたり相手の考えを受け入れたりすることができた。</p> <p>⇒お互いの意見が合わずトラブルになったとき、どうすれば仲良く過ごせるのかじっくり考えさせることで、今後も調整力の向上を図りたい。</p>
<p>環 境</p>	<p>・小学生とふれあい、小学校への興味や関心を育てることができたか。</p> <p>・身近な自然に親しみを持って接することができたか。</p>	<p>A</p> <p>A</p>	<p>○児童会が主催する「なかよしタイム」では、中庭で児童と鬼ごっこやかけっこなどで過ごすなど、走り回っている。また、小学校の運動会や学習発表会にも参加し、学校への関心も高めている。</p> <p>⇒今後も学校との接点を増やし、これからの自分達をイメージさせていきたい。</p> <p>○なすび、キュウリ、トマト、イチゴ、ピーマン、ゴーヤ、山の芋等々、季節に応じた野菜を育て、食することで食べ物に対する親しみを持つことができた。</p> <p>⇒今後も継続して取り組みたい。水をやったり雑草を引いたりしながら、野菜の成長過程を学ばせたい。</p>

#### 4 幼稚園・認定こども園における学校関係者評価結果

##### (1) 重点目標についての評価

- ・4人という少人数混合保育の利点を生かし、公用車を使って園外保育に行くなど、のびのびとした運営ができています。
- ・同年代の他、様々な年齢層の人たちとの関わりを持つ機会を積極的に設定している。コミュニケーションの育成にも繋がるので今後とも継続してほしい。

(2) 総合的な評価（意見・感想）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・篠山幼稚園で多くの幼児が学ぶことができるよう、本園での取組を地域に発信してほしい。</li> <li>・今年度は年長が一人であったが、一人でもこんなに楽しく過ごせているということも地域に知ってほしい。</li> <li>・城下町に立地しているので、四季折々のお祭りがあったり商店街もある。今後も園外に出かけ篠山の特色やふるさとの良さを知る機会を設定していただきたい。</li> </ul>
--

(3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

評価項目	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
<p>【健康】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りの清潔や基本的生活習慣の確立</li> <li>・意欲的に遊ぼうという行動力の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○登園後から朝の挨拶が始まるまでの諸準備も園児には定着している。一日の始まりの時間を今後とも大切にしてほしい。</li> <li>○身の回りの整理整頓、身だしなみ、食事のマナー等、普段の指導が行き届いている。今後も保護者と協力しながら望ましい生活習慣の徹底をお願いしたい。</li> <li>○園外保育で様々なところへ行かれている。幼稚園は楽しい所という意識も生まれたのではないか。その気持ちが行動力に繋がっている。</li> <li>○睡眠時間の確保は成長にとって大切である。各家庭との連携をとってほしい。</li> </ul>
<p>【人間関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思いやりの心や自己表現力の育成</li> <li>・友だちと生活する楽しさや大切さに対する実感</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○福祉施設を訪問して様々な年齢層の方たちとふれあう機会を設定している。城下町会館でも人がくつろぐ場を提供しているので、年に何回か来ていただきたい。</li> <li>○4人という少人数なので、地域社会での交流の場を増やし、地域の方とのコミュニケーションをとってほしい。</li> <li>○来年度は10名在園で男の子も入る。友達との関係も常に良好とはいかないと思う。意見や思いの食い違いなどでトラブルが起こったとき、折り合いの力を育成する場面ととらえて園児の育成に努力してほしい。</li> </ul>
<p>【環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校への興味関心の育成</li> <li>・身近な自然への関心</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中間休みに児童と遊ぶ機会を設定していただいている。今後も継続して取り組んでほしい。また、運動会や学習発表会も一部合同で実施されている。園児にはよい刺激になっていると思う。</li> <li>○季節に応じた野菜の栽培とそれらを使った調理に取り組まれている。篠山の素材を生かした食育を今後も推進してほしい。また、野菜をこまめに世話することで簡単には成長しないことにも気づかせてほしい。</li> </ul>

幼稚園・認定こども園における学校評価報告書

篠山市立八上幼稚園

園長 松 笠 勝 也



1 幼稚園・認定こども園教育目標等

夢やめあてを持ち、生き生きと生活する園児の育成

- ・思いやりの心を持ち、友だちと仲良く助け合える子
- ・自分で決めたことに対して、よく考え、最後まで意欲的に取り組む子
- ・心と体を鍛え、何事にも積極的に挑戦する子

2 今年度の重点目標

(4歳児)・園生活に慣れ、教師や友だちとのかかわりを深めて安心して過ごす。

- ・身近な事象に関心を持ち、自ら進んで活動し、見つけたことを自分なりに表現する。

(5歳児)・園生活を楽しみ、運動や遊びを活発に行うとともに基本的な生活習慣を身につける。

- ・友だちとの関わりを深め、意欲的、創造的に遊びや仕事に取り組み、経験を広め充実感を味わう。

3 学校自己評価項目の達成及び取組状況

(達成状況： Aよく達成できた B達成できた C課題がある D改善を要する)

分野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
教育課程	発達段階に応じて保育内容や指導方法を工夫し、自ら進んで活動ができるよう支援を行う。	A	クラス全体で、子どもが自分の思いや考えを伝え合う時間をとり、自分たちで考え、決めて活動していけるように心掛けた。
	のびのびと体を動かして、楽しく遊べる子を育成するために、環境づくりや援助のあり方の工夫に取り組む。	A	やってみたくなるような環境作りの工夫をし、仲間づくりなど人間関係が深まるように取り組んだ。安心して遊べるように、時間や場の確保をし、意欲的な取り組みになる言葉がけを行った。結果子どもたちで遊びを広げて楽しむようになった。
園児指導	保護者と連携して基本的な生活習慣や園生活のルールの定着を図る。	B	園だよりやクラスだより、連絡ノートなどをとおして、啓発し定着するようにしてきた。後片付けについて課題を有する。
	篠山市ふた葉プロジェクトに基づいて、眠育、食育の指導を行う。	C	食べ物の好き嫌いや食事のマナーに課題が見られることから、子どもには指導を行ったり、育てた野菜を収穫してクッキングを行ったりしている。今後は園便り(食育だより)などで保護者に知らせていくようにする。
安全管理	防災・防犯・交通安全等の安全教育・訓練を行うと共に、緊急事態発生時の体制を整える。	B	小学校と一緒に避難訓練を行い、避難場所や経路等を知り、避難の仕方を身につけられるよう指導した。今後は防犯訓練や引き渡し訓練も小学校と一緒に実施していきたい。
	施設・設備の安全管理を確実に行う。	B	毎月安全点検を行い、必要に応じて修繕等行っている。
特別支援教育	保護者と連携を密にし、一人一人の実態やニーズに応じた支援を行う。	A	発達についての相談が必要な園児には、保護者面談をし、相談に繋げることができた。連絡ノートや登降園時、毎日の子ども様子も保護者に伝え、理解を深めてもらえるようにしている。
	各種機関や専門家と連携し適切に支援を行う。	B	健康課や、発達支援センター、巡回相談等、連携を密にし、支援のあり方について理解を深めている。



#### 4 幼稚園・認定こども園における学校関係者評価結果

##### (1) 重点目標についての評価

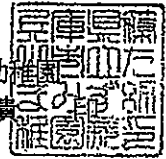
- ・あいさつを習慣づけるには、いつも普通に声を出せばいいのだが、指導のタイミングとか方法（目標を設定するとかの）が大切。
- ・子どもが自分でできそうなことは、できるまでじっくり待ってやるのが大切。
- ・毎日の生活の中で創意工夫したり、振り返って思ったことを発表する場があるのがよいことである。

##### (2) 総合的な評価（意見・感想）

- ・1年間で子どもたちはずいぶん成長した。特にひらがなをよく覚えるようになった。今日の発表会では友だちのことを思いやる場面が見られてうれしかった。
- ・幼稚園で言葉集めをし、その言葉を先生がホワイトボードに書かれているので、自然にひらがなに興味を持ち、覚えるようになった。また中遊びと外遊びを子どもに選択させてもらえるのもうれしい。

##### (3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

評価項目	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
発達段階に応じて保育内容や指導方法を工夫し、自ら進んで活動ができるよう支援を行う。	子どもたちが幼稚園へ行きたいと思っていることが一番よいことであり、幼稚園で本当に楽しく生活している様子を見ることができて嬉しく感じる。
保護者と連携して基本的な生活習慣や園生活のルールの定着を図る。	おはしの持ち方の指導は子どもの時にきちんと教えておく必要がある（持ち方を直させることも含めて）自分の食べ方が相手に不快感を与えるようではいけないので、きちんとマナーを身につけさせることが大切。
のびのびと体を動かして、楽しく遊べる子を育成するために、環境づくりや援助のあり方の工夫に取り組む。	子どもたちを個性豊かに伸ばしていただいている。地域の方とのかかわりがすばらしく、園児が感謝の気持ちを持っていることもすばらしい。
保護者と連携を密にし、一人一人の実態やニーズに応じた支援を行う。	特別支援について、みんながちがっていてもいいと思うが、一人だけ合奏に参加しなかった子がいた。集団生活の中で、無理矢理に行動させなかったことはよかったと思うが、周りの大人や子どもたちの理解を深めることが必要である。



1 幼稚園・認定こども園教育目標等

「一人ひとりがきらりと輝く園児の育成」

～ なかよく げんきよく がんばる子 ～

2 今年度の重点目標

- ◎一人一人の園児の良さや特性を理解し、発達段階に応じた運動能力や生活習慣等が確立できるよう援助を心がける。
- ◎人や物や自然とのふれ合いを大切にして、自ら関わろうとする態度を育て、心の成長や人とつながる力等の基礎をつくる。
- ◎安全・安心な幼稚園づくりを目指して、園安全体制の整備を進めると共に生活の中で危険な遊び方や場所や遊具などについて気付かせる。
- ◎家庭・地域とともにある幼稚園を目指し、その信頼に応えると共に地域の方とのふれあいの機会を大切にする。

3 学校自己評価項目の達成及び取組状況

(達成状況： Aよく達成できた B達成できた C課題がある D改善を要する)

分野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
指導	・四季折々の自然や人々との触れ合いの中で「あそび」を通して園児の主体的な活動を尊重しながら感性豊かな園児を育てる。	A	・自然を題材とした工作・体験活動や行事を通して四季を感じ、豊かな情操を培うことや自ら関わろうとする態度を育てることができた。 ・他園の園児や小学生・高校生との交流や地域の方々との交流を通して人との触れ合いを学べた。
	・心身共に健康な成長を目指して、「食育」についての指導と啓発を積極的に行う。 ・「眠育」についての指導と啓発を、保護者・家庭と連携して行っていく。	B	・野菜作りや調理体験から食への関心を高めることができた。また、地域の方による出前クッキングや保護者対象の給食試食会も実施できた。 ・生活アンケートでも、「食育」・「眠育」の大切さについての保護者への啓発を行った。
安全管理	・小学校との合同訓練や地域と連携しての防災訓練や安全点検を行う。 ・教職員の研修を進めると共に、緊急連絡体制の整備や活用に努める。	B	・月2回の職員安全点検や保護者等による安全点検を行い、園安全環境向上に取り組んだ。また、交通安全教室や引き渡し訓練・避難訓練(年3回)を小学校合同で行った。職員研修についても救急法講習や緊急時対応マニュアル等保護者会と協力して行った。
との保護者・地域の連携	・開かれた幼稚園を目指して、園だよりや学級通信等を発行、HPの更新に努める。 ・地域の子育て支援の場を目指して保護者の願いを受け止め、園行事を地域に公開する。	A	・園だより・学級通信発行、HP更新に努力した。オープンスクールを予定通りに実施して、保護者人権学習会を実施し、お楽しみ会等の園行事を地域に公開できた。 ・日々の連絡帳や送迎時の面談と共に、生活アンケートやオープンスクール時に保護者の意見を聴取した。

#### 4 幼稚園・認定こども園における学校関係者評価結果

##### (1) 重点目標についての評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児への保育や指導の面と、園児の安全・安心に関わる安全管理の面、さらに保護者・地域との連携からの面それぞれについて、たまたみ幼稚園の実態や特徴ある取り組みに合わせて、目標と評価項目を設定されていると思う。この目標を元に、しっかりとたまたみ幼稚園教育を進めていただきたい。</li> </ul>
--

##### (2) 総合的な評価（意見・感想）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの結果を見ると園児、保護者とも園教育方針に対して高い評価であることが分かった。今後もさらに保護者と意思の疎通を図りながら進めていってほしい。</li> <li>・様々な行事や交流活動などを通して、園児の自主的・自発的活動を大切に取り組みがされていることが分かった。また、高校生や小学生、他園園児等の交流も多く取り入れられ行われていることが分かった。今後も取り組みを進めてほしい。</li> <li>・安全・安心な園づくりについては、様々な取り組みを進めてもらっているが、自治会や地域組織としても、さらに協力できることがあれば取り組んでいきたい。（防犯カメラ設置等）</li> </ul>
--

##### (3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

評価項目	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・四季折々の自然や人々との触れ合いの中で「あそび」を通して園児の主体的な活動を尊重しながら感性豊かな園児を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園へ園児が喜んで通っていることは素晴らしい。また、様々な行事や交流活動等を通して更正保護女性会・高校生など人とつながる力を高める取り組みを更に進めていただきたい。そして、子どもたちの初めての集団生活となる幼稚園での教育を、一人一人の良さや発達の特性に応じた指導をさらに心がけていただきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・心身共に健康な成長を目指して、「食育」についての指導と啓発を積極的に行う。</li> <li>・「眠育」についての指導と啓発を、保護者・家庭と連携して行っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児の食に対する体験活動と共に、保護者への食育の啓発をさらに進めていただきたい。</li> <li>・園児の睡眠については、保護者アンケートから少し課題があることも分かった。保護者と連携を図りながら、指導を進めていただきたい。</li> <li>・園児の体づくりについてあそびや運動を通して体力づくりを進めていただきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校との合同訓練や地域と連携しての防災訓練や安全点検を行う。</li> <li>・教職員の研修を進めると共に、緊急連絡体制の整備や活用に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度も地域消防団との合同訓練が行えたことはよかった。来年度以降も続けていってほしい。避難訓練（年3回）や引き渡し訓練などを通して、小学校と連携しながらの取り組みを進めていただきたい。緊急連絡網のメール配信体制で、より迅速で確実な方法を確立できている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・開かれた幼稚園を目指して、園だよりや学級通信等を発行、HPの更新に努める。</li> <li>・地域の子育て支援の場を目指して保護者の願いを受け止め、園行事を地域に公開する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者アンケートの結果で「通信や文書は具体的で内容がよくわかる」や「幼稚園が相談しやすい雰囲気である」と高い評価を受けていることは素晴らしい。</li> <li>・各種通信の発行やHPの更新をこれからもお願いしたい。</li> <li>・地域の中の幼稚園を意識し、行事や体験活動等で積極的に地域とのかかわり作ってほしい。</li> </ul>

幼稚園・認定こども園における学校評価報告書

篠山市立岡野幼稚園  
園長 萩野孝幸



1 幼稚園・認定こども園教育目標等

「あかるく なかよく げんきよく」  
～あそびがすき・ともだちがすき・えがおいっぱい岡野っ子～

2 今年度の重点目標

- 基本的な生活習慣や日常生活におけるルールの定着
  - 4歳児：生活や遊びのきまりを守り、良い生活習慣を身につける。
  - 5歳児：公共の場でのルールを守り、みんなで気持ち良く生活する。
- 豊かな環境（人や自然）と関わる体験を通じた情操教育の充実
  - 4歳児：身近な人や動植物と関わり、活動することを楽しむ。
  - 5歳児：いろいろな人や自然と関わり、それぞれの良さを感じながら活動する。
- 遊びの充実を図り、なかよく助け合う望ましい人間関係づくり
  - 4歳児：友だちとふれ合い、一緒に遊ぶ楽しさを知る。
  - 5歳児：友だちと協力したり工夫したりして一緒に遊びを進める楽しさを知る。

3 学校自己評価項目の達成及び取組状況

(達成状況・・・A：よく達成できた B：達成できた C：課題がある D：改善を要する)

分野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
園経営	① 保育活動や園行事へ保護者や地域の人々の参加が図られている。	A	*各種の行事に、保護者だけでなく評議員さんや白寿会の方も参加して下さっている。さらに地域の方へも呼びかけていきたい。
	② 家庭や地域へ情報を適切に発信している。	A	*学校園だより、園だより、学級通信を定期的に発信できている。幼稚園のHPも開設し活用が図れた。
	③ 家庭や地域と連携した安全教育や訓練が行われている。	B	*小学校と合同で行っている。引き渡し訓練など家庭とは連携できているが、地域と連携した取組については課題がある。
教育課程	① 地域や自然環境の特色を活かした保育、体験を取り入れた保育が展開されている。	A	*地域の特産物の栽培活動・園外保育・3B体操・交流活動等様々な活動に積極的に取り組めた。研究会場園として、研修に意欲的に取り組めた。
	② 幼児が心を動かす遊びの充実を図り、友だちとの関わりを深めていくための適切な援助を心がけている。	B	*幼児の興味関心を大切にしたい遊びや季節を考慮した遊び等を工夫して取り入れられた。人数減少に伴い更なる工夫改善が必要である。
	③ 異校種間の連携・交流が計画的に実施出来ている。	A	*小学校や幼稚園・こども園との交流が計画的に図られた。高校生との交流も積極的に行うことができた。
課題教育	① 生活や遊びを通して、道徳性や人権意識の高揚が図られている。	B	*生活や遊びの場面で、良いことをした時には褒め、悪いことをした時には叱るということを根気強く実践している。幼児同士の話し合いによる解決も大切にしている。少人数の中でどう鍛えるかが課題である。
	② 食育や眠育の大切さを保護者に積極的に啓発できている。	B	*学級だよりや園だより、保護者懇談会や園長講話等を通じて食育や眠育の大切さについて啓発してきた。

4 幼稚園・認定こども園における学校関係者評価結果

(1) 重点目標についての評価

\*幼稚園教育目標や指導の重点項目については、園児の実態を考えた内容であり、適切である。  
 来年度、今年度の取組を生かしながら課題を明確にして、更に充実させていくことが大切である。  
 \*幼稚園教育目標、指導の重点、評価項目が一体化していることはいいことだ。  
 \*教育目標にあるように、園児が常に明るく、仲良く、元気よく園生活を送ってくれるよう今後も尽力してほしい。

(2) 総合的な評価 (意見・感想)

\*幼稚園全体として、活気があり、元気な園児が多い。  
 \*先生と子どもたちの距離が近く、個々に適切できめ細かな言葉がけができています。  
 \*保育や教育活動に、子どもの主体性を伸ばそうとする先生方の工夫が感じられる。  
 \*今年度、研究会を受け研修を重ねられたことの成果が、子どもたちの成長にも現れていると思う。  
 \*今後益々、園の少人数化が進む中で、少人数の良さを生かした保育のあり方を工夫していくことは大切であるが、多人数の中で育つ力をいかに保障していくか、園だけでなく地域や行政も含めて考えていく必要がある。

(3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

分野	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
園経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>*今年度も、PTA役員・学校評議員による施設安全点検ができた。</li> <li>*園児の作品や掲示物等が季節や時期ごとに上手く工夫されているので感心する。</li> <li>*学級懇談会や保護者会において、園の方針や園児たちの実態などを発信したり、保護者からの意見を聞いたりして意見交換することは大切である。</li> <li>*岡野幼稚園ならではの、特色ある園経営を期待する。</li> <li>*園児の減少に伴い、日々の保育や教育活動、行事の持ち方に工夫改善が必要となってくる。</li> <li>*幼稚園のHPを昨年以上には更新できている。来年度はさらに積極的に更新し、地域に広く情報発信してほしい。</li> </ul>
教育課程	<ul style="list-style-type: none"> <li>*異校種間等の交流は必要だが、交流を通して何を伸ばしていくのかが大切。また、平素の保育や教育活動との関連性も大切である。</li> <li>*本年度も近隣の幼稚園やこども園との情報交換が積極的に行われた。今後も園児たちの交流及び教職員の指導の共有化は、小学校入学に向けて必要である。</li> <li>*道徳心・人権感覚・規範意識等の芽生えを迎えるこの時期、保育や遊び、集団生活の中で、ねらいや目的を明確にした指導が大切である。</li> <li>*今年度研究会を受けられ研修に尽力されたことが、教員の力量の向上にもつながり、なにより園児の保育にも良い影響を与えられたと思う。</li> <li>*地域の指導者を招いての3B体操への取組は来年度も継続するべきである。</li> </ul>
課題教育 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>*基本的な生活習慣や道徳性の指導内容に関する園の方針等については、年度初めに保護者にしっかりと説明して理解を得ることが大切である。</li> <li>*食育や眠育については、家庭の協力に負うところが大きい。その大切さについてしっかり理解してもらえるように、啓発方法について工夫していただきたい。</li> </ul>

幼稚園における学校評価報告書

篠山市立 かやのみ 幼稚園  
園長 押 部 匡



1 幼稚園教育目標等

こころ豊かで、たくましく活動する子の育成

2 今年度の重点目標

- (1) あそびを通じた友達との人間関係づくり、ふれあいの中で、きまりを守り、善悪を判断する等の生活に必要な習慣・態度を身につけ、人とかかわる力を育てる。
- (2) 家庭と連携した食育、眠育の取組を通して、基本的な生活習慣を確立する。
- (3) 小学校との連携や預かり保育施設「しろたきクラブ」と綿密な連携を図り、子育て支援の一環として円滑な保育が実施できるようにする。
- (4) 身近な自然や地域の人材を生かし、直接的な体験が得られる保育活動を工夫する。

3 学校自己評価項目の達成及び取組状況

(達成状況： Aよく達成できた B達成できた C課題がある D改善を要する)

分野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
教育課程	・自由遊びで友だちとなかよく遊ぶことができる。	B	小グループで遊びを決めて友達と仲良く遊ぶことができた。さらに、運動会後ではリレー遊び等チームとして楽しむ遊びもできるようになった。
	・歌や器楽演奏を楽しむことができる。	A	生活発表会を中心に、子ども達なりに意欲を持って難しい内容にも挑戦し、演奏を楽しむことができた。
基本的な生活習慣	・元気なあいさつができています。	A	いつも明るく大きな声で教師に対してあいさつができた。
	・園でのきまりを守り規則正しい生活ができる。	B	✓規則を守ろうと意識して園での生活を送る子どもいれば、なかなか守れない子どもいた。
小学校との連携の推進	・1年生、5年生との交流活動を楽しむことができる。	A	12月と1月に、1年生と5年生と小学校で楽しく交流することができた。
	・小学校の運動会や防災訓練、交通安全教室などに参加して共に学ぶことができる。	A	小学生と一緒に様々な体験をする機会を設けることができた。
	・幼小の職員の情報交換ができる。	A	普段からの情報交換だけでなく、12月、1月には小学校職員が幼稚園児の保育参観をする等し、その後合同職員会議で情報交換をした。

保護者との連携	・保育の様子を伝えることができる。	A	毎週各組の通信、月1回の園便りの発行やHPの更新により、日々の保育の様子を伝えることができた。 園長講話などにより各家庭に規則正しい生活習慣の啓発ができた。
	・家庭と連携して食育、眠育など規則正しい生活を送ることができる。	B	

#### 4 幼稚園における学校関係者評価結果

##### (1) 重点目標についての評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの少ない地域なので、大人も気軽に地域でも園児にかかわる機会を作り、顔見知りになるようにしたい。そうすることで、園児の人間関係づくりにつながる力を自然と育むことができる。一人一人の個性を大切にしながら、落ち着いた園生活が送れるよう願っている。</li> <li>・地域の自然や特産物などの素材を保育にたくさん取り入れ、地域人材を生かした保育を更に推進してほしい。</li> </ul>
--

##### (2) 総合的な評価（意見・感想）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な行事に参加させていただいたが、子ども達も元気にすくすくと育っている。さらに、保護者・地域とも連携を深め、よりよい幼稚園となるようにしてほしい。</li> <li>・さつまいもや米を育てることで、作物を育てる楽しさや大変さを体験し、好き嫌いをなく食べられるようになってほしい。今後も、園の行事に積極的に参加し、園児との関わりを通して園児の健やかな成長につながればと思っている。</li> </ul>
---

##### (3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

評価項目	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
楽しい園生活の展開 園庭での遊びの確保	保護者や地域とも連携して一人一人の園児の背景の情報収集し、適切な支援に生かしてほしい。 園庭の遊具の設置場所については改善の必要がある考える。予算措置ができれば、できるだけ安全に広く園庭が使用できるよう改善してほしい。
元気なあいさつ 生活習慣の確立	いつも大きな声であいさつができています。保護者間でもできるように広めてほしい。 保護者、地域と連携を更に図り確立に向けて推進してほしい。
地域との連携 情報の発信	今年度も多くの団体と、行事を通して交流することができた。
親としての成長を支える工夫	保護者の意見の中に、生活発表会の参観で子どもの成長が実感できたということがあったが、できるだけ、そのような機会を多く持ち、親自身も共に成長するという意識を持ってほしい。



1 幼稚園・認定こども園教育目標等

(1) 経営方針

単独園として2年目となる。本年度も園児が安全に過ごし保護者が安心して通わせることのできる園となるよう「安全・安心」を第1に掲げて保育活動を進めていく。さらに、本年度は「こども園への移行」に向けた初年度であり、教育委員会をはじめとする関係諸機関との連携を密にして、積極的に関わるとともに、保護者や地域への情報発信にも努めていく。

(2) 教育目標

こころ豊かに、力いっぱい活動する たきっ子の育成

2 今年度の重点目標

- (1) 安全・防災面に力を入れる。その際、園単独ということを生かし、園児の実態に応じた丁寧な訓練や指導を行う。
- (2) 家庭・地域と一緒にになって園児の基本的な生活習慣の確立を図る。
- (3) 園内だけでなく、園外に出かけたり、講師を招いたりするなどして様々な体験活動を行う。

3 学校自己評価項目の達成及び取組状況

(達成状況： Aよく達成できた B達成できた C課題がある D改善を要する)

分野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
安全	・安全点検により遊具や設備等の安全確保を行ったか。	A ✓	・月に2回安全点検を実施し、2回目には1回目に出てきた課題を職員作業等で解決してきた。
	・園児が園生活を安全に過ごせるような保育活動を行ってきたか。	B	・毎月1回は、訓練もしくは安全に関する教室を開催し、園児はもとより職員自身が安全意識を磨く場とした。
連携	・子育てについて保護者が気軽に相談できたか。	A ✓	・年2回の個人懇談だけでなく、ふだんから連絡帳等や電話で連絡を取り合い、必要であればすぐに出会うように心がけた。
	・食育や眠育を通して、園児の基本的な生活習慣の確立に努めてきたか。	B	・通信等で情報発信に努めると共に、給食試食会やオープンスクールなどを通して、訴えてきた。95パーセントの子どもが朝食を食べている。
園運営	・体験活動を取り入れた保育を行ってきたか。	B	・田や山に出かける機会を大事にしてきた。今年は「人と自然の博物館」から講師を招き、ダンゴムシについて楽しく学んだ。
	・園や学級の方針・内容をわかりやすく保護者に伝えてきたか。	A ✓	・予定などの情報はできるだけ早く保護者に伝え、保護者が園に来やすい状況をつくるように心がけた。アンケート結果ではほとんどの保護者が満足しているとの回答だった。
	・園児は楽しんで幼稚園に通うことができたか。	A ✓	・子ども達の興味や関心を生かしつつ、伸び伸びと過ごせる園となるよう努めてきた。



#### 4 幼稚園・認定こども園における学校関係者評価結果

##### (1) 重点目標についての評価

- ・支所移転など幼稚園を取り巻く環境が変化中、関係機関と連絡を取り合って園児の登園や降園時の安全についてしっかりと対応されている。
- ・「ダンゴムシ」についてみんなで考え調べる「ダンゴムシ会議」を開いたり、人と自然の博物館から講師を招いたりして、子ども達の興味や関心を喚起させるような体験をさせていただいている。

##### (2) 総合的な評価（意見・感想）

- ・単独園としての2年目も、保護者や園児にとって安心な園となるようにきめ細かく取り組んでいただいている。
- ・次年度4月から多紀支所が隣の旧小学校跡に移転する。園児の登園・降園での安全について十分に配慮していただきたい。同時に、そのことを、支所に来られる地域の方々に幼稚園を覗いていただく機会が増えたと捉えて、さらに地域に開かれた幼稚園となるようにしていただきたい。

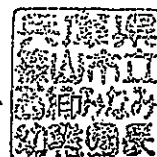
##### (3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

評価項目	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全点検等により遊具や設備等の安全確保を行ったか。</li> <li>・園児が園生活を安全に過ごせるような保育活動を行ってきたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の安全点検だけでなく、夏には市民救命士を全員習得されたことなどを聞き、先生方の安全に対する意識が高まっていると思う。</li> <li>・旧小学校跡地活用に関する工事では、登園や降園時の安全について家庭と連携しながら十分な配慮をされている。また、園児の遊び場所に死角をつくらないように常に先生方が気を配られているのがよくわかった。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てについて保護者が気軽に相談できたか。</li> <li>・食育や眠育を通して、園児の基本的な生活習慣の確立に努めてきたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳や、電話、個人面談など、保護者が話しやすい雰囲気や場をつくり、きめ細かな子育て支援に努めておられる。</li> <li>・本年度は隔年で行う給食試食会を実施し、給食を通して食の大切さを伝えていただいた。今後は子ども達の睡眠についても家庭と連携してさらに取り組んでいってほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験活動を取り入れた保育を行ってきたか。</li> <li>・園や学級の方針・内容をわかりやすく保護者に伝えてきたか。</li> <li>・園児は楽しんで幼稚園に通うことができたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年のキッズキャラバンに続き、「人と自然の博物館」の出前講座を行い、園児の興味や関心を生かし、子ども達にいろんな体験をさせていただいている。</li> <li>・アンケートからは、園からの発信をしっかりと受け止めていただいていることがわかる。今後もきめ細かな情報を発信してほしい。</li> <li>・大多数の園児が「幼稚園に行くことを楽しみにしている」というアンケート結果が示す通り、いつ見ても子ども達は元気に活動しており、笑顔があふれている。その根底には、安心・信頼があると思う。</li> </ul>

幼稚園・認定こども園における学校評価報告書

篠山市立西紀みなみ幼稚園

園長 杉本 克治



1 幼稚園・認定こども園教育目標等

明るく元気に活動し、思いやりの心や挑戦する心をもった園児を育成する

2 今年度の重点目標

- ・安全・安心な幼稚園づくりに向け、園内施設及び安全点検の充実を図るとともに、職員の危機対応能力を高める。
- ・家庭と連携し、基本的生活習慣を育成するとともに、食への関心を持たせる。(4才児)
- ・家庭と連携し、基本的生活習慣の定着を図るとともに、食への関心高める。(5才児)
- ・園近くの自然を生かした体験活動を通して、人や生き物に対する優しい心を育む。(4才児)
- ・園近くの自然を生かした体験活動を通して、優しさやたくましく生きる力を育てる(5才児)
- ・園児一人一人の特性や発達課題を把握し、個に応じたきめ細かな指導を行う。(4才児)
- ・園児一人一人の特性や発達課題を十分に把握し、就学に向け、個に応じたきめ細かな指導を行う。(5才児)

3 学校自己評価項目の達成及び取組状況

(達成状況： Aよく達成できた B達成できた C課題がある D改善を要する)

分野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
安全・安心な園づくり	園内施設及び園内安全点検の充実	A	・本年度も小学校職員と合同の安全点検を実施し、危険箇所の改善を迅速に進めることができた。 ・門扉を設置するとともに、登園時、保護者が園児を引き渡す方法を安全に配慮した方法に変えた。
	職員の危機対応能力の向上	A	・講師を招いての危機対応訓練を2回実施し、実際の場面での職員間の連携のあり方を深く学ぶことができた。
基本的生活習慣の確立	家庭と連携した基本的生活習慣の定着	B	・入園当初より家庭との連携を密にしながら、衣服の着脱や排泄を <del>始め</del> 、食事の面でも園児の自立に向けた取組の充実を図った。 <sup>ついで</sup> 年少組については、基本的生活習慣の定着に向け、保護者へさらに広報していくことが必要である。
	元気にあいさつができる園児の育成	B	・大きな声で挨拶をする習慣が身に付いてきているが、自分から進んであいさつをするという点では課題がある。
体験を通じた活動の充実	食育に関する取組の充実	A	・白菜、キャベツ、アスパラ、ブロッコリー、にんじんなどを栽培し、黒豆栽培にも挑戦した。1月の「お餅つき」では、黒豆をきな粉にしておもちにまぶして食べた。野菜の栽培を通じて、生き物への関心を高めることができた。 ・クッキングを年間3回行った。地域の栄養士会の方にご指導いただき、食育に関する話をさせていただいたことが大変良かった。
	身近な自然に親しむ活動の推進	A	・近隣の地域を散歩したり、園近くの森に出かけたりして、四季折々の自然の植物にふれて遊び、楽しみながら自然に関心を持つことができた。
特別支援教育の充実	個に応じた指導・支援の充実	A	・積極的に保護者との面談の機会を設け、保護者と連携しながら、個に応じた指導・支援を進めることができた。 ・外国人園児については、日々、該当園児の様子をよく見て、できる限り思いを理解しようと努めた。また、通訳派遣を関係機関に依頼し、園児の思いを知り、園の決まり等について該当園児が理解できるようにした。

	就学に向けた取組の推進	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度小学校に入学する園児の様子を小学校教師が参観する機会を一定期間設けた。</li> <li>・幼稚園職員から小学校職員に対して、日々の園児の様子や支援の必要な園児について、きめ細かに引き継ぎを行った。</li> </ul>
--	-------------	---	---

#### 4 幼稚園・認定こども園における学校関係者評価結果

##### (1) 重点目標についての評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>・登園時の保護者から担任へ園児を引き渡し方法が変わったが、園児・保護者ともにそのやり方に慣れてきている。安全な引き渡し方法として良い。</li> <li>・野菜の栽培や身近な自然に親しむ体験を通して、命の大切さに気づき、様々な生き物への愛情が育まれていると感じる。</li> <li>・積極的に保護者との面談を行っていることは、個に応じた指導・支援を行う上で大変良い。</li> </ul>
--

##### (2) 総合的な評価（意見・感想）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・年少組・年長組ともに、多くの保護者が幼稚園の生活を通じて、自分の子どもが良く成長していると保護者アンケートの中で答えており、基本的な生活習慣の確立等、日々のきめ細かな指導の成果が出ている。</li> <li>・園での行事や普段の保育の様子を見る中で、先生たちの園児への優しさを感じる。そのことが園児たちの成長につながっていると思う。</li> </ul>
---

##### (3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

評価項目	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
安全・安心な園づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・門扉が設置され、登園時の園児の引き渡し方についても定着してきている。地域で子どもたちを守っていく体制を固めることが大事である。</li> <li>・「幼稚園は保育の場として安全で活動しやすいよう整備されていますか」という問いに、保護者の中で一人だけあまりできていないと答えている人がいる。その意見を大切にしてほしい。</li> </ul>
基本的な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭と連携したきめ細かな指導により、基本的な生活習慣が身に付いてきているのが大変良い。次年度も家庭との連携を大切にしてほしい。</li> <li>・あいさつはだんだんとできるようになっていると思う。今後もあいさつの大事さを伝えながら、指導して行ってほしい。</li> </ul>
体験を通じた活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校近くの森へ連れて行ってもらっているのは、園児にとって貴重な体験である。少しぐらい危ないことも体験し、思いきり自然とふれあい、遊ぶことは大変良い。</li> <li>・園でクッキングを体験することが3回あるが、園児は楽しみにしており、園で習ったことを家で実践している園児もいる。園児の自信にもつながっている。</li> </ul>
特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両親ともに懇談を行ったケースがあったが、家庭での子どもとの関わり方が改善されるきっかけとなる。親が変われば子どもも変わっていく。</li> <li>・園として、一人一人に応じた指導・支援のあり方を考えていくことは大事だが、親が子どもと小さい頃にふれあうことの大切さを保護者に伝えて行ってほしい。</li> </ul>



1 幼稚園教育目標等

一人一人が光り輝く 明日のきたっこの育成  
～学びに向かう力 伝える力 かかわる力～

2 今年度の重点目標

園児や地域の実態を踏まえた特色ある教育課程を編成し、子どもの「より良い育ち」を実現する環境（人・自然と関わる場、学びの場）づくりに努める。

【目指す園児像】「友だち大好き、幼稚園大好きっ子」

4歳児：・笑顔と大きな声で挨拶できる子 ・感じたことや考えたことが言える子  
 ・人の話を聞くことができる子 ・友だちと楽しく遊べる子  
 ・いろんな活動に楽しく参加できる子 ・友だちや先生に相談できる子  
 ・自分からかかわろうとする子

5歳児：・笑顔と大きな声でしっかり挨拶できる子  
 ・感じたことや考えたことが伝えられる子  
 ・人の話を聞いて活動する子 ・友だちと楽しく協力しながら遊べる子  
 ・いろんな活動に進んで参加できる子 ・友だちや先生と話し合っ解決できる子  
 ・友だちと一緒にかかわろうとする子

3 学校自己評価項目の達成及び取組状況

（達成状況： Aよく達成できた B達成できた C課題がある D改善を要する）

評価項目	達成状況	理由 取組状況・改善方策
自立に向けた取組 ○基本的な生活習慣 ○楽しい園生活 ○体験活動と地域交流	A	○早寝、早起き、朝ごはん、「あいさつ日本一の草山地域」運動、また手洗い、うがい等、基本的な生活習慣の確立や、準備や後片付け等、家庭と連携を密にし、習慣化を進めた。 ○目指す園児像として「友だち大好き、幼稚園大好きっ子」を掲げ、他園との交流もしながら、人との関わりを社会性の第一歩として重視した。指示したことだけさせるのではなく、園児自身に選択させるような場面を日常化した。 ○豊かな自然の中での体験、草山地域の人々との交流活動を積極的に行った。
地域に開かれた幼稚園 ○保護者の願いを受け止める園 ○地域の関係団体との連携	A	○日々の送迎時に短時間でも保護者との情報交換をすることにより、園児理解、保護者理解に努めた。 ○西紀北地域の老人クラブ、遠方市民農園や福祉施設（和楽の郷）との交流、また、行事に、「きたっこ守り隊」、「きたっこはうす」に参観を案内し、本園の保育活動に理解を得ている。
危機管理体制 ○教職員の危機管理意識の向上 ○防災訓練の実施 ○緊急連絡体制の整備や活用	B	○毎月、園内危険箇所の点検を実施し、早期の対応に心がけている。「きたっこ守り隊」「きたっこはうす」の指導員との連携を図り、危機管理意識の向上に努めている。 ○小学校と連携した避難訓練はしているが、小学校と距離があるために状況に応じて、幼稚園単独で避難しなければならないことも起きうる。その時のマニュアルの確認が必要である。
食育・眠育・あそび ○クッキング・野菜栽培 ○読み聞かせ ○交流保育	B	○自分たちが育てた野菜を使って料理することで、子どもたちは、感謝の心を持って食えることができた。 ○毎週金曜日に絵本を貸し出し、保護者に就寝前に読み聞かせを依頼している。 ○少人数の良さを生かしながら、他園や小学校との交流をすすめる中で、協調性の育成を図っている。

4 幼稚園における学校関係者評価結果

(1) 重点目標についての評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模、少人数という特色がよく生かされた教育課程が編成されている。</li> <li>・草山地域の方々との計画的・継続的な交流の続けてきたことで、子どもたちの中に地域の方々に対する温かい気持ちが育まれている。また、自分から人や自然にかかわって意欲的に遊ぶ姿から、自立に向けての園児の育成が図られている。</li> <li>・子どもたちの声が地域の中で響くことが、地域の活性化につながっている。「あいさつ日本一の草山地域」運動は、今後も園内・家庭・地域と一体なって取り組みたい。</li> <li>・他園や小学校と交流も積極的に行い、同世代の子どもたちとも群がる必要がある。</li> </ul>
---

(2) 総合的な評価（意見・感想）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児一人ひとりの理解を深めていただき、集団としても力の発揮できる幼稚園教育の継続をお願いします。これからも人の気持ちの分かる園児を育て、西紀きた幼稚園ならではの少人数の中でのより良い仲間づくりをお願いします。</li> <li>・預かり保育（きたっこ守り隊、きたっこはうす）の存在が、保護者にとって助かっていると思う。今後も連携をとりながら続けていただきたい。</li> <li>・あいさつは大人のあいさつを見て学ぶところが多い。まず、大人から模範を示していけるように地域あげて取り組んでいきたい。</li> <li>・今後、特別な支援を必要とする園児が増えてくるので、関係機関とも連携し、相談体制を整えていくことが必要になってくる。</li> </ul>
--

(3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

評価項目	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
自立に向けた取組 ○基本的な生活習慣 ○楽しい園生活 ○体験活動と地域交流	○保護者アンケート結果では、「友だちの気持ちを考えることの大切さを教えたり、社会のルールを守る態度を育てようとしている」の回答が100%であった。今後も園児に人の気持ちを大切にしたりルールを守ることを大切にする保育をすすめてほしい。 ○保護者は「子どもの意欲や自主性を大切にする保育活動ができている」の回答が殆どであるが、少人数であるため手をかけすぎる傾向があるので、待つことも大切にしながら、指示が多くならないように努め、さらに、園児の自主性、主体性が育つ保育をめざしてほしい。
地域に開かれた幼稚園 ○保護者の願いを受け止める園 ○地域の関係団体との連携	○保護者アンケートから、保護者は園教育に非常に満足していることが伺える。草山地域の子育て支援の場として地域ともにある幼稚園となることを願いたい。 ○地域の老人クラブや草山郷づくり協議会、遠方市民農園、福祉施設との交流活動は、引き続き大切にしてほしい。
危機管理体制 ○教職員の危機管理意識の向上 ○防災訓練の実施 ○緊急連絡体制の整備や活用	○安全安心な園づくりに一番大切なことは、教職員の危機管理意識である。高い意識を持って園運営に努めてほしい。 ○幼少時から子どもたちにも、安全に生活するために自分で心がけなければならないことを常に考えさせてほしい。 ○緊急時には、小学校とだけではなく保護者、地域と連携が必要になってくるので体制の整備、確認が必要である。
食育・眠育・あそび ○クッキング・野菜栽培 ○読み聞かせ ○交流保育	○自然豊かな草山地域だからこそできる食材（サツマイモ、栗等）を使った食育を推進していただきたい。 ○読書の必要性を感じながら読書習慣がつきにくいので、幼少時代から読み聞かせをして想像力を育みながら、心地よい睡眠へと導いていくことは大切である。 ○子ども同士が群れる機会が必要である。 ○西紀北小学校は、体育発表会やなわとび記録会など伝統的体育行事があるので、幼稚園の頃から体幹を鍛えるとともに器械運動やなわとび運動に親しみを持たせたい。



1 幼稚園・認定こども園教育目標等

夢をもち 心豊かで 自立する 園児の育成

2 今年度の重点目標

- ・2年間の保育課程を見直しをもって編成し、園児一人一人のよさや可能性を発揮させる。
- ・基本的な生活習慣を身につけ、健全な心身の基礎を培う。
- ・安全に過ごそうとする態度や思いやりの心を育む教育を家庭や地域と連携して推進する。
- ・4歳児：教師との信頼関係のもと、安定して園生活を過ごし、遊びを通して自分の思いや感じたことを様々な方法で表現できるよう保育活動を行う。
- ・5歳児：友だちとのかかわりを深め、友だちと意思を出し合い、共通の目的をもって意欲的に遊べるよう援助する。また、特別な支援を要する園児も共に生活する中で、友だち同士が互いを認め、思いやりの心が育めるよう保育を展開していく。

3 学校自己評価項目の達成及び取組状況

(達成状況： Aよく達成できた B達成できた C課題がある D改善を要する)

分野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
教育課程・指導	遊びや保育活動を通して、園児一人一人のよさや可能性を発揮させながら、他人とかかわり、力の向上や生活習慣の確立をめざすことができたか。	B	・頑張っている姿や良いところをみんなの前で紹介する中で、友だちのことを認めたり、刺激を受け自分も頑張ろうとしたりする姿が見られた。
	一人ひとりの子どもが自立に向かうための指導や支援ができたか。	A	・子ども自らが自分で考え、意欲的に活動できるように、言葉掛けをした。 ・4歳児は特に身の回りのことなどを親にやってもらう子が多く、自分でやろうとしない子が多い。自分でできるように声を掛け、保護者の方にはお便り等で啓発をした。
	保・幼・小学校の連携を大切に、発達の連続性を考慮した保育の推進に取組めたか。	B	・保育園とは年間3回交流を行っている。保育園児と関われる行事を取り入れている。小学校とは、縦割り班活動で年間2回、1年生とは、3回以上の交流を行っている。定期的に連絡を取り合い、連携をとっていきたい。

家庭・地域との連携	家庭や地域の協力のもと、栽培活動や飼育活動を積極的に行い、食べ物や命を大切にしたり、五感を育んだりできるような保育に取組めたか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>栽培活動を積極的に行った。特に黒豆の栽培では、愛育班の方と種から植え、苗の植え替え収穫まで連携して行うことができた。5歳児が4歳児に教えながら、活動できた。生き物の飼育から命の大切さを学べることができた。来年度は、地域の方に大山の自然を使った遊びを教えていただく機会を作っていく。</li> </ul>
安全管理	安全に過ごそうとする態度や思いやりの心を育むことができたか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで、大きな怪我なく過ごせている。</li> <li>1年間毎日トイレのスリッパをきちんと並べて、友だちが気持ちよくトイレを使えるよう指導した。スリッパを揃えてくれた友だちに感謝できるようにもなってきた。</li> <li>1学期は、保育室内で走り回り、ぶつかることが多かったので、話し合う機会をもった。周りの友だちのことを考えながら、遊ぶ姿が多くみられるようになった。</li> </ul>

・4歳児、5歳児で顕著な差が見られた内容があればその旨も記入してください。

#### 4 幼稚園・認定こども園における学校関係者評価結果

##### (1) 重点目標についての評価

幼稚園の頃から、何になりたいとか、どんな人になりたいという気持ちをもつことは大切である。心の優しい気づかいのできる子どもを学校と地域と家庭で育てていき、社会に出たとき、人間関係の基盤となるところを育てていってほしい。家庭から離れて自立する第1歩になる幼稚園で、生活習慣を確立し、小学校へ繋げてほしい。

##### (2) 総合的な評価（意見・感想）

子どもたちは、進んでお手伝いをしたかったり、友だちと関わったりしたくてたまらない。その中で、喧嘩や危ないことが発生する。何もしなければ、喧嘩も危ないことも起こらない。つまり、喧嘩も危ないことも起こりうることで、それを回避させることと、乗り切らせることが大事である。そのためにも、いろんな体験をさせ、経験することによりいろんな力がついてくるものである。子どもたちにいろんな体験ができる環境づくりを頑張ってもらいたい。

##### (3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

評価項目	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
遊びや保育活動を通して、園児一人一人のよさや可能性を發揮させながら、他人とかかわり、力の向上や生活習慣の確立をめざすことができたか。	子どもたちがしっかり挨拶ができるようになってきて、〇〇さんと名前を呼んでくれるようになってうれしい。遊びの中で学びながら大きくなっていくので、いろんな活動を取り入れていくとよい。声掛けの仕方が園児に考えさせるように言われているのがよいと思う。

<p>一人ひとりの子どもが自立に向かうための指導や支援ができたか。</p>	<p>早く寝る家庭がだんだん少なくなっていており、9:30でも早く寝たと感じる家庭がある。子どもの睡眠時間のことを考えて、早く寝させる重要さを伝える必要がある。毎日の積み重ねが大事なので、日々家庭と連携をとるとよい。給食を食べる様子から普段の食事の様子がうかがえる。ストローで牛乳を吸えない子やお箸をうまく使えない子に対して家庭と連携をし、うまく食べられるようになるとよい。</p>
<p>保・幼・小学校の連携を大切にし、発達連続性を考慮した保育の推進に取組めたか。</p>	<p>保育園児が幼稚園に上がってきたときに運動会や交流会と一緒に活動しているので、スムーズに幼稚園に入りたいと思いつながりながら入園ができています。幼稚園児は、小学生と交流しているので、小学校に行きたいという気持ちをもちながら、入学ができています。幼稚園で積み重ねたことが小学校での土台になるようにしてほしい。</p>
<p>家庭や地域の協力のもと、栽培活動や飼育活動を積極的に行い、食べ物や命を大切にしたり、五感を育んだりできるような保育に取組めたか。</p>	<p>幼稚園の依頼があれば、協力させていただく。特に、栽培活動や本の読み聞かせ、昔遊びなどできることがあれば依頼してほしい。自然を使った遊びは、まず、園庭から行っていき、園の周辺に広げたらどうか。地域に出かけるときも依頼があれば、安全面で配慮できると思う。</p>
<p>安全に過ごそうとする態度や思いやりの心を育むことができたか。</p>	<p>元気で走り回ることはいいが、ケガをしないように自分たちで考える場面を与えないといけない。危ないといっても、自分で理解していないと何度も同じことを繰り返してしまうので話し合うことが大事である。思いやりの部分は、声をかけてやらないと何も考えないでやってしまうことが多いので、思いやりをもってできたときには、いっぱいほめてあげると効果的である。</p>

### 記入にあたっての留意事項

#### 1 幼稚園・認定こども園教育目標等

幼稚園・認定こども園の状況を踏まえ重点化された短(中)期の幼稚園・認定こども園運営の目標や方針を記入してください。

#### 2 今年度の重点目標

今年度、重点的に取り組むことが必要な具体的な目標を記入してください。

#### 3 学校自己評価項目の達成及び取組状況

(1) 評価項目は「幼稚園における学校評価ガイドライン」の《別添2-1》の19ページを参考にしてください。また、評価項目に「ささやまの教育」の重点項目等を入れていただいても結構です。

(2) 評価項目の数は各幼稚園・認定こども園にお任せいたします。

・分野の数は2~4ぐらいを基準とします。



1 幼稚園・認定こども園教育目標等

<p>教育目標                  ところ豊かにたくましく生きる力の育成                  経営方針&lt;3つの力の育成&gt;                  1 生活をする力…自分のことは自分で言い、進んで体を動かす子どもの育成                  2 発見・考え・表現する力…好奇心旺盛に関わり、自信を持って表現する子どもの育成                  3 関わる力…互いの良さを認め合えるところ豊かな子どもの育成</p>
---

2 今年度の重点目標

<p>(共通)「みんなで力を合わせる」「自分でできることを増やす」「友だちに優しくする」                  (4歳児)・友だちと関わり合いを喜び、一緒に遊びを楽しむ。                  ・生活の仕方がわかり、自分なりに考えて行動しようとする。                  (5歳児)・友だちとのつながりを深め、目的を持って遊びを楽しむ。                  ・自分なりの目的や課題を持って取り組み、やり遂げる充実感を味わう。</p>
--

3 学校自己評価項目の達成及び取組状況

(達成状況： Aよく達成できた B達成できた C課題がある D改善を要する)

分野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
生活面	○子どもは、元気にあいさつができる。	B	・早朝預かり支援員との連携も含め、教職員から笑顔で明るいあいさつに努め、園児も元気にあいさつできるようになってきた。
	○子どもは、園でのきまりを守り、規則正しい生活ができる。	A	・園の友だちとなかよく過ごすためには、決まりを守ることを理解させ、朝会や行事等機会ごとに話を聞く姿勢もほめて育てた。
保育面	○子どもは、友だちとなかよく遊ぶことができる。	B	・5歳児は自分本位のケンカが減り、相手のことを考える言動が増えた。4歳児は友達を意識して生活できるようになった。遊びの中で関わり合い、力をつけてきた。さらに年長・年少交流を増やしていく。
	○地域の自然や人とふれあう保育ができる。	A	・地域の施設やゲストティーチャー、高齢者大学と交流しながら保育ができた。
家庭との連携	○子どもの保育の様子を伝えることができる。	B	・月1回の園だよりや週1回の学級通信を発行し、こまめに保護者に子どもの成長を知らせることもできた。
	○家庭と連携して、規則正しい食生活や睡眠を十分にとる。	B	・寝顔の写真掲示やクッキング等の行事を取り入れ、睡眠や食生活について家庭とともに考えることができた。
保育園・小学校との連携	○保育園や小学校との連携が図れた。	A	・幼稚園の行事に複数回1年生や4年生を招待し、たかしろ保育園や八上幼稚園とも交流が図れた。
	○幼小の職員の情報交換ができる。	B	・園児の情報交換や特別支援に関わる情報交換ができた。さらに特別支援にかかわる幼小職員による合同研修を行いたい。

#### 4 幼稚園・認定こども園における学校関係者評価結果

##### (1) 重点目標についての評価

- ・生活発表会で、自分だけのことでなくみんなの発表になるように年長組の園児なりに意識して演技している姿が見られた。小学校へもこの育ちを大切に、積み重ねるように進めていってほしい。
- ・昨年度から引き続き、小学校コミュニティ・スクールと連携して栽培活動や餅つきなどの活動ができた。今後も城南幼小合同のコミュニティ・スクールとして、体験活動を支えていきたい。活用をお願いしたい。
- ・研究会で来年度以降自然を取り入れた保育をしていくと聞いたが、地域資源も活用して自然への興味関心を高めてほしい。

##### (2) 総合的な評価（意見・感想）

- ・1年間で大きく成長する姿が見られた。今日の園行事を参観していても、園児一人ひとりが助け合って一つにまとまろうと自分なりに考えて活動している姿に感動した。
- ・野菜の栽培や収穫に今年は保護者（PTA 学級委員）もよく来てくれて、よい活動ができた。
- ・保護者で山野などの自然とふれあう人は少ない。アグリステーションを活用するなど、ぜひ親子で体験できるような取り組みも進めてほしい。

##### (3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

評価項目	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
<p>&lt;生活面&gt;</p> <p>○子どもは、元気にあいさつができる。</p> <p>○子どもは、園でのきまりを守り、規則正しい生活ができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつは、家庭や地域でも協力して取り組みたい。幼稚園で明るい笑顔で温かく迎えていただいでできるようになるのは、素晴らしいことである。</li> <li>・まず園児の話をしっかりと受け止めることが大切だと思う。これからも温かに見守ってほしい。</li> </ul>
<p>&lt;保育面&gt;</p> <p>○子どもは、友だちとなかよく遊ぶことができる。</p> <p>○地域の自然や人とふれあう保育ができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生活発表会」のような発表する機会を大切にしながら、歌や合奏、友だちと劇など作り上げる達成感を得る体験が大切だと思う。</li> <li>・地域の人材を生かし、自然体験活動や伝統文化に関する活動などを取り入れながら、自然や文化への興味関心を高めてほしい。</li> </ul>
<p>&lt;家庭との連携&gt;</p> <p>○子どもの保育の様子を伝えることができる。</p> <p>○家庭と連携して、規則正しい食生活や睡眠を十分にとる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園での活動がよく分かるように園だよりや学級通信の発行等工夫されているが、ホームページは今の保護者でも見られない方があると聞いて驚いた。</li> <li>・これからも保護者と連携して、基本的な生活習慣が育つよう取り組んでいくことが大切である。</li> </ul>
<p>&lt;保幼小との連携&gt;</p> <p>○保育園や小学校との連携が図れた。</p> <p>○幼小の職員の情報交換ができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年少児が年長児にあこがれるように、幼稚園の子は小学校にあこがれを持っている。隣接しているので、引き続き小学校との交流を続けてほしい。</li> <li>・園児の様子をていねいに引き継ぐことが、小学校へのスムーズな移行に繋がる。</li> </ul>

幼稚園・認定こども園における学校評価報告書

篠山市立古市幼稚園

園長 足立 浩



1 幼稚園・認定こども園教育目標等

〔教育目標〕	こころ豊かで、意欲的に活動する園児の育成
〔めざす園児像〕	(1)自ら遊びを見つけ、友だちとなかよく活動できる子 (2)やさしい思いやりのある子 (3)進んであいさつする子

2 今年度の重点目標

(1)身近な自然や地域の人材を生かし、直接的な体験が得られる保育活動を工夫する。
(2)一人一人を生かした集団を形成しながら、調和のとれた保育活動を推進する。
(3)眠育・食育等、家庭との連携を図り、基本的な生活習慣の育成を図る。 <4歳児> 幼稚園生活に慣れ、友だちと楽しく過ごす。 <5歳児> 友だちと協力し合って、様々な活動に意欲的に取り組む。

3 学校自己評価項目の達成及び取組状況

(達成状況： Aよく達成できた B達成できた C課題がある D改善を要する)

分野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
教育課程・指導	・楽しい幼稚園生活	A	・多くの体験活動を取り入れ、園児一人一人に寄り添うきめ細かな保育を進めた。(良い評価97%、以下同様)
	・遊びを通じた仲間づくり	A	・芝生園庭を活用した運動遊びや、年長・年少組の交流「なかよしペア」などにより、仲間づくりを進めることができた。(100%)
	・自然や生き物とのふれあい	B	・オオムラサキの飼育やサツマイモ栽培等、生き物観察や野菜づくり、収穫物の調理など、園児の興味や関心を生かす活動に取り組んだ。(94%)
安全管理	・安全・安心な園づくり	A	・小学校と連携し避難訓練等を実施するとともに、遊具の安全な使い方や遊び方について指導し、園児の安全対応能力の向上を図った。(97%)
	・施設設備・遊具等の安全管理	A	・小学校と合同で毎月2回安全点検を実施した。不備な箇所は、修繕、業者依頼、予算要求措置等、分類して対応した。(100%)
保護者・地域住民との連携	・保育や園児の様子の発信	A	・毎週のおたよりや連絡帳、電話、来園時の相談など、機会を捉えて伝えることができた。(97%)
	・家庭や地域との連携交流	B	・交流計画「ちいきのみなさんこんにちは」を元に保護者や地域の方と交流を行った。
	・食育・眠育など基本的な生活習慣の育成	A	・朝食(97%)、睡眠(97%)など、基本的な生活習慣の大切さについて通信や面談で保護者に伝えることができた。

#### 4 幼稚園・認定こども園における学校関係者評価結果

##### (1) 重点目標についての評価

- ・英語遊びやピアノ演奏会、クリスマス会、野菜作り等、保護者や地域の方に来園いただき交流する活動がたくさんあった。愛育班との交流については今後増やしていきたい。
- ・季節ごとに地域へ出かけたり身近な自然にふれたりする体験活動に取り組めた。四季折々の自然物を活用した制作活動は、子どもたちの豊かな心を育てている。
- ・園アンケート結果より、朝食・睡眠は評価が高いが、挨拶・お手伝いは低い評価となっている。基本的な生活習慣については家庭でも力を入れていきたい。

##### (2) 総合的な評価（意見・感想）

- ・幼稚園に通った1～2年の間にたくさんの成長が見られた。生活発表会では、一人一人の園児が表情豊かに力いっぱい発表している姿にとっても感動した。
- ・園庭が竹藪の陰になり日当たりが良くない状況である。また、芝生の状態がかなり悪化している。安全・安心な園をめざすためにも環境整備を進めたい。
- ・支援の必要な園児が、先生や周りの子に支えられながら楽しそうに活動していた。特別支援教育の理解を深めながら、一人一人の個性を生かす保育活動を進めたい。
- ・見内に児童預かり施設が新設される。幼児教育、子育て支援の充実が住みやすい地域となり児童数の増加につながることを期待したい。

##### (3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

評価項目	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児は楽しんで幼稚園に通うことができたか。</li> <li>・遊びを通して、仲間づくりなど人間関係が深まる保育活動を進めているか。</li> <li>・園児は自然や生き物に楽しんで接することができたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高い評価である。今後も、園児の興味関心が高まるように、工夫した園行事や保育活動を進めてほしい。</li> <li>・年長・年少組の交流や園全体での活動により、仲間づくりが進んでいる。また、支援の必要な園児への支援体制も図られている。</li> <li>・引き続き、豊かな自然を生かした体験活動を通じて、園児一人一人の豊かな心を育ててほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は、安全・安心な園づくりを進めているか。</li> <li>・施設設備・遊具等の安全確保が行われているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児への安全教育は、発達段階に応じて引き続き小学校と連携しながら取り組んでほしい。</li> <li>・園・PTA・地域の方の安全点検により、安全な環境が保たれている。今後も安全・安心な園づくりを進めたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育や園児の様子をわかりやすく伝えているか。</li> <li>・家庭や地域と連携して、交流活動を進めることができたか。</li> <li>・家庭と連携して、食育・眠育など基本的な生活習慣を育むことができたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高い評価である。今後も保護者の信頼を得るべく、園の様子を丁寧に伝えたり日常的に相談に乗ったりしてほしい。</li> <li>・保護者や地域の方との交流は、園児の成長につながるのと同時に大人も元気をもらえるので、増やしていきたい。</li> <li>・食育・眠育・あそび等家庭生活に係る事項は、保護者の理解と協力を得られるよう工夫してほしい。</li> </ul>



1 幼稚園・認定こども園教育目標等

「心豊かで、いきいきと活動する 今田っ子の育成」  
 ～げんき・なかよし・力いっぱい～

「げんき」…あいさつや返事・しっかり食べる・体を動かす・十分な睡眠・安全な生活  
 「なかよし」…思いを表現する・話をしっかり聞く・助け合い思いやる心  
 「力いっぱい」…想像力・工夫・挑戦・夢中になる・失敗にくじけない心・感動する心

2 今年度の重点目標

- (1) 幼稚園教育要領に準拠し、市の教育理念を踏まえた教育活動を推進し、心豊かでいきいきと活動する幼児を育成する。
- (2) 地域や保護者と連携しながら、事故やけがのない安全な園づくりを進める。
- (3) 社会体験や自然体験を通して、自然・地域・人を愛し、それらと積極的に関わろうとする幼児の育成を図る。
- (4) 家庭・地域・保育園・小学校・中学校との連携を密にし、教育効果の向上に努めるとともに、開かれた幼稚園づくりを進める。
- (5) 集団生活や2年保育の良さを生かし、同年齢や異年齢の園児が互いに関わりながら成長していく活動を支援する。

3 学校自己評価項目の達成及び取組状況

(達成状況: Aよく達成できた B達成できた C課題がある D改善を要する)

分野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
園 運 営	保育活動や園行事へ保護者や地域の人々の参加・協力	A	保護者会とも連携し、協力して行事が進められた。保育園や小・中学校、高齢者との交流もできた。今後も開かれた園をめざし、積極的な交流を図る。
	安全・安心な園づくり	A	土砂災害特別警戒区域に幼稚園がかかることとなり、避難マニュアルを更新して避難訓練を行った。園児の安全に対する意識も高まった。
教 育 課 程	基本的な生活習慣の定着	B	基本的な生活習慣定着をめざし、保護者との連絡を密にした。しかしながらアンケート結果では達成度が他の項目より低かったため、今後も取り組みを続ける。
	遊びの充実と適切な支援	A	異年齢のペア活動を通して、遊びの幅が広がり、内容が深まった。外遊びに喜んで出て行く園児の姿が見られた。
	食育と眠育の推進	B	給食指導やクッキングの取組、お弁当日、「早寝・早起き、朝ご飯」の啓発等により、保護者も食育や眠育への関心が高まった。今後も継続し、いっそうの推進を図る。
課 題 教 育	幼児期の特性を踏まえた人権意識の高揚	B	園児同士のトラブルがあったときには子どもたちに向き合い、自分の思いをうまく表現したり、相手の思いを考えたりすることに力をいれた。
	個に応じたきめ細かな特別支援教育の充実	A	定期的に職員会議を持ち、園児一人一人について共通理解を図った。 関係機関とも連携し、個々に応じた支援のあり方を常に見直し、適切な支援ができた。

4 幼稚園・認定こども園における学校関係者評価結果

(1) 重点目標についての評価

- ・幼稚園の教育目標である「げんき」「なかよし」「力いっぱい」をいつも意識して活動できている。
- ・保護者会とも連携をとって、丁寧に指導いただいた成果が表れている。
- ・土砂災害のごとも含め、防災意識をもって避難訓練や集団行動の訓練を実施することが大切である。
- ・園児の数が減っているのに、そのメリットを生かすとともにデメリットについても考えないといけない。

(2) 総合的な評価（意見・感想）

- ・保護者の様子も昔とは変わってきている。共働きなどで、家にいない場合も多い。行事などの実施については保護者にも先生にも負担になっている場合があるのではないかと。また、保護者会の役員なども大変ではないかと。今までと同じようにはできないことが今後あるかもしれない。
- ・発表会では元気に発表しているが、感動を伝えるような心のこもった台詞が言えるなど情操面にも力をいれてほしい。
- ・元気はあるのだが、昔の子どもに比べてたくましさはなくなってきたように思う。
- ・生活発表会では、よくがんばっていた。先生方も大変だったと思う。
- ・課題のある園児も増加傾向にあると聞く。そういった子どもたちが発表等でも孤立しないようにこれからも指導してほしい。
- ・姉がいるのだが、生活発表会ではそのときよりも少し幼い（かわいらしい）感じがした。しかしながら、1年間の子どもの成長は大きい。

(3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

評価項目	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
保育活動や園行事へ保護者や地域の人々の参加・協力	保護者同士のつながりも薄くなっているように感じる。園行事や保護者会行事の機会をうまく使ってつながりを強めていきたい。町づくり協議会とも連携していくのもよい。
安全・安心な園づくり	安全点検を一緒にしたが、特に危ないと思うところはなかった。土砂災害特別警戒区域のこともあり、様々な場面を想定した避難訓練を今後も継続していく必要がある。
基本的な生活習慣の定着	保護者アンケートではやや評価が低い。アンケートの質問の仕方工夫して、園の指導の部分が家庭での指導の部分か分かるようにするとよい。園と家庭が連携し、課題意識を共有して指導していくことが大切である。さらに連携を密にしていってほしい。
遊びの充実と適切な援助	外遊びもたくさんしてほしい。運動会は園庭の狭さと配慮の必要な園児のことを考えると体育館での実施も理解できる。三輪車などの道具類は取り合いにならないように、ある程度の数をそろえて自由に使えるようにしていくとよいのではないかと。
食育と眠育の推進	これからもしっかり進めていってほしい。
幼児期の特性を踏まえた人権意識の高揚	子どもが一人ぼっちになることのないように、課題のある子どもと一緒に活動できるように気を配ったり、指導したりしてほしい。
個に応じたきめ細かな特別支援教育の充実	いろいろな園児がいて先生も大変だと思うが、園児の成長を感じた。先生方に感謝している。

幼稚園・認定こども園における学校評価報告書

篠山市立味間認定こども園

園長 西嶋 睦美



1 幼稚園・認定こども園教育目標等

- 教育・保育目標：よく食べ・よく遊び・よく学ぶ子の育成
- 目指すこども園像：みんなで伸びよう・笑顔いっぱい・楽しい認定こども園
- 目指す園児像：なかよく・げんきよく・ちからいっぱいがんばる子  
気持ちよくあいさつができる子

2 今年度の重点目標

- 【0～3歳児】
- 各年齢における生活習慣の確立を図る。
  - 自然と関わり、見て、触れて、表現して遊び、豊かな情操を育み、内面を育てる。
  - 異年齢児との交流を図り、温かい人間関係を育む。
- 【4・5歳児】
- 体験活動や集団活動を通して、基本的な生活習慣と日常におけるルールの必要性を理解し、定着を図る。
  - 豊かな自然環境を生かし、四季の変化の中で五感を通して様々なものと触れ合い、豊かな情操を育む。
  - 異年齢児と触れ合い、いたわりの気持ちを育てる。

3 学校自己評価項目の達成及び取組状況

(達成状況： Aよく達成できた B達成できた C課題がある D改善を要する)

分野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
園運営	<p>【保護者・地域住民との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種便りを通じて、家庭・地域への情報発信に努める</li> <li>・地域との交流を通して、温かい人間関係を育む。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種便り（こども園便り・園便り・クラス便り・食育便り・保健便り等）を定期的に発行し、園の取り組みや園児の活動の様子等を情報発信することができたが、紙面構成の工夫や、保育室前掲示などを検討し、更に分かりやすいものにしていく。</li> <li>・計画的に地域との交流活動を実施することができ、互いにとって有益な活動になった。今後は、普段の遊び（散歩時など）の中での触れ合い方を考えていきたい。</li> </ul>
	<p>【危機管理体制整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭や地域社会と連携した危機管理体制の推進に努め安心・安全な園づくりに努める。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員が2人ペアになり、毎月違った箇所を点検することで、安全対策に意識をもって取り組むことができた。</li> <li>・毎月1回非常訓練を行うと共に、篠山市消防本部の指導による訓練や、保護者による引渡し訓練も行うことができた。今後、地域自治体や篠山警察署との連携を密にし、安全管理に活かしたい。</li> </ul>

教育課程	<p><b>【指導内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ、手洗い、うがい、片づけなど基本的な生活習慣の育成に努める。</li> <li>・身近な自然と触れ合う機会を大切にすると共に多様な体験活動を取り入れる。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり協議会と連携したあいさつ運動は次年度以降も継続して取り組んでいく。</li> <li>・年間計画に沿った地域との交流・体験活動を充実させるとともに、園周辺の地域との触れ合いや交流の機会を積極的に設ける。</li> <li>・味間特産のお茶に親しんだり（お茶摘み・調理等）黒枝豆もぎ体験や日常の散歩等を通して四季を感じたりすることができた。</li> </ul>
	<p><b>【個に応じた指導】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の特性や発達段階に応じた指導に努める。</li> <li>・支援が必要な幼児について、家庭や関係機関と連携し、職員間で共通理解して指導・支援に努める。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の幼児理解に努め、自主性や意欲を大切にし、“子どもファースト”の保育に努めた。</li> <li>・巡回相談や発達支援センター、健康課との連携を密にし、関係機関との共通理解を図り、発達課題に即した指導・支援を行った。また、保護者との連携を密にし、思いに寄り添うことを心掛けて相談に乗り、指導・支援に生かした。</li> <li>・就学に際しては、味間小学校（他の小学校）健康課、市教委との連携を密にし、発達課題のある園児のスムーズな就学が図れるように努める。</li> </ul>
課題教育	<p><b>【眠育】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・眠育を推進すると共に、健康保持・増進への関心が高められるように努める。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・睡眠調査の実施・分析・保護者への報告ができたが、保護者への発信方法を更に工夫するとともに、園と家庭とが更に協力し合って眠育に取り組んでいきたい。</li> </ul>
	<p><b>【食育】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食に関する教育を推進し、楽しく食事をする共に、食の意義を理解できるように努める。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育保育の日を設定し、地域の特産物を食したり、行事食に触れたりすると共に、食育だよりを発行し食の大切さについて伝えた。</li> <li>・0～3歳児保護者対象に食育研修会を開催し、朝ごはんの大切さについて学ぶ機会とすることができた。</li> <li>・地域活動栄養士会の指導のもと、5歳児親子のクッキングを行った。次年度以降も取り組みたい。</li> </ul>
	<p><b>【遊び】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びを通して、体力作り、人間関係作り、創意工夫する心の育成などに努める。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然や四季の行事、生活などを遊びの中に取り入れ、主体的に遊びを進める喜びを味わうことができた。次年度は今以上に園周辺の自然環境を取り入れ、遊びが更に発展するように努める。</li> </ul>



園内調理	<b>【調理全般】</b> ・年齢や個人差を考慮した食事の提供を行う。 ・喫食の様子や残食の状況をふまえ、調理を工夫する。	A	・行事食を通して季節を感じたり、季節の食材を知らせたりした。 ・残食の状況を確認し、担任と連携して調理方法の工夫につなげる。 ・食を通して五感が豊かに育つように工夫していく。
	<b>【安全衛生】</b> ・安全で衛生的な食事の提供を行う。	A	・特別な配慮（食物アレルギー・体調不良・発達課題等）の必要な園児に対応した食事を提供できた。次年度は除去食の食材が同じようなものにならないように考慮したい。 ・できたての物、衛生的な食事の提供ができた。 ・離乳食は保護者との連携を密にして、発育の段階に応じて進められた。
	<b>【情報提供】</b> ・食の大切さ、レシピ、調理方法等を知らせる。	B	・毎月の献立表や食育便り、保護者に食の大切さを啓発することに努めた。 ・食育の観点からも行事食等についてや献立のレシピ紹介に努めたい。

#### 4 幼稚園・認定こども園における学校関係者評価結果

##### (1) 重点目標についての評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標を意識して、職員が力を合わせて取り組んでいるのがわかる。</li> <li>・子どもたちは目指す姿に向かってのびのびと生活している。</li> </ul>
---

##### (2) 総合的な評価（意見・感想）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々に応じた指導・支援が行われている。自然に触れ、自然を取り入れた保育はとてもいいと思うので、今後も続けてほしい。</li> <li>・0歳児～5歳児までが通うこども園ならではの保育として、異年齢交流や日々の保育の中での自然な触れ合いに今後も積極的に取り組んでほしい。</li> </ul>
---

##### (3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

評価項目	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
<b>【保護者・地域住民との連携】</b> ・家庭・地域・保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各通信等できめ細やかに情報を発信してもらっているが、加えてホームページの開設も検討してほしい。</li> <li>・年間計画に沿った地域との交流・体験活動の充実を図ることができているが、園周辺地域との触れ合いや交流の機会を積極的にもつようにしてほしい。</li> </ul>
<b>【危機管理体制の整備】</b> ・安心・安全な園づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3～5歳児対象の防犯教室や職員防犯訓練の実施がされ、安全対策に取り組んでいる事が分かる。幼児への具体的な指導内容についても情報発信してほしい。</li> </ul>

<p>【課題教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 眠育・食育・遊び</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食育保育の日を設定し、地域の特産物を食したり行事食に触れたりする機会がもうけてあり、嬉しく思う。給食レシピの紹介などで家庭への情報提供もしてほしい。</li> <li>・ 5歳児対象の親子クッキングは、とてもいい取り組みである。今後も続けてほしい。</li> </ul>
<p>【園内調理】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安心・安全な給食の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ できたての物、衛生的な食事の提供をしていただいている。アレルギーのある園児への除去食の提供もあるが、対象児保護者との面談等で食事内容や提供手順などについても共通理解してほしい。</li> </ul>